（R8.10.27 発行）

宮城県林業普及活動情報

2026.9 月号　No.220

もくじ

各地の林業普及活動情報　P2～8

〇森林経営計画の策定に向けた支援
（大河原地方振興事務所）

〇林業事業体と作業道の線形についての検討
（大河原地方振興事務所）

〇「野生きのこ等」への注意喚起
（大河原地方振興事務所）

〇「森林経営管理制度に係る大河原圏域推進会議」の開催
（大河原地方振興事務所）

〇森林経営管理制度の推進に向けた伴走支援
（仙台地方振興事務所）

〇原木しいたけPRイベント打合せ
（仙台地方振興事務所）

〇苗木生産を目指したミズキの種子採取
（北部地方振興事務所）

〇森林経営計画策定支援
（北部地方振興事務所）

〇ハタケシメジの栽培支援
（北部地方振興事務所）

〇苔に関する活動への支援
（北部地方振興事務所栗原地域事務所）

〇たけのこ出荷再開への支援
（北部地方振興事務所栗原地域事務所）

〇みやぎ高度機械産業振興協議会とのマッチング
（東部地方振興事務所）

〇「みやぎ林業・木材産業ＤＸ推進協議会」第２回全体会議
（東部地方振興事務所登米地域事務所）

〇「森の展覧会」開催
（気仙沼地方振興事務所）

〇みやぎ森林・林業未来創造カレッジ　林業教室選択講座Ⅳ（木材流通）
（林業技術総合センター）

森林経営計画の策定に向けた支援

大河原地方振興事務所

【1日（火）】

新たな森林経営計画策定に向けた打合せを事業体と行いました。予定では年内の計画開始に向け、森林簿等の内容確認を進めながら、認定申請を行う準備を行ってきました。

今年度はこれらに基づき、森林施業を計画することとしており、引き続き、取組が円滑に進むよう、必要な指導・助言を行っていきます。



【打合せの様子】

林業事業体と作業道の線形についての検討

大河原地方振興事務所

【9日（水）】

今年度、管内で温暖化防止間伐推進事業実施予定の林業事業体と、間伐に必要な作業道の線形について検討しました。

打合せでは、宮城県土木部が公開している航空測量データや、QGISを活用して現地の地形等を可視化することで、今回の間伐実施に必要な森林作業道について改めて見直しを行いました。

今後も、事業の進捗状況に合わせ、事業体へ必要なサポートを行っていきます。



【打合せの様子】

「野生きのこ等」への注意喚起

大河原地方振興事務所

【28 日（月）】

秋のきのこシーズンに伴い、管内の特用林産物を取り扱う直売所を対象に、放射性物質に関する食の安全・安心を確保するため巡回指導を実施しました。

今回は、これまでの情報収集等により野生きのこの取り扱いが想定される管内の直売所を主な対象に、放射性物濃度の基準値を超えた商品を流通させないよう、また、毒キノコ等の取り扱いに注意するよう巡回指導を実施し注意喚起を行い、販売者には、改めて、食の安全・安心を確保するため、検査の必要性を再認識していただきました。

引き続き、適宜、巡回指導を行いながら、関係機関と連携のもと、安全安心な食品の流通について、注意喚起を行っていきたいと思います。



【巡回先の様子】

「森林経営管理制度に係る大河原圏域推進会議」の開催

大河原地方振興事務所

【30 日（水）】

森林経営管理制度や森林環境譲与税を活用した森林整備の推進に向けて、管内市町の担当課長等を参集し、大河原圏域推進会議を開催しました。

各市町から取組状況や計画についての報告いただき、県やサポートセンターからは、今年 4 月に施行された森林経営管理法の改正内容や、Google earth を活用した森林の確認手法等について情報提供したほか、今後の取組のヒントとなるよう、具体的取組や各市町で挙げられた課題等について、意見交換を行いました。

各市町の進捗状況や方針についての情報共有が図られたほか、それぞれが抱える悩みや疑問等に対する意見交換を行ったことを踏まえ、今後の取組方針や支援方法についての検討を進めるとともに、引き続き、各市町の進捗状況を確認しながら、経営管理制度実施の推進に向けて支援していきます。



【会議の様子】

森林経営管理制度の推進に向けた伴走支援

仙台地方振興事務所

【2日(水)、8日(火)、25日(金)】

森林経営管理制度の推進を目的に名取市、利府町、山元町に対して伴走支援を行いました。

名取市と山元町では、次期集積計画対象森林を町職員とともに現地調査しました。いずれも立木密度が高く伐根が無いことから無間伐の林分で、自然倒木の発生状況からも保育間伐が必要であることが確認できました。

利府町では、昨年度に集積計画を公告した地区における市町村森林経営管理事業の委託発注に向けて、設計参考資料の提示とプロット調査の考え方等を指導しました。また、中長期の方針相談にも対応しました。

今後も市町村のニーズに沿った支援を行い、森林整備が進むように支援していきます。



【現地調査した要間伐森林の林相】



【現地調査した要間伐森林の林冠】

原木しいたけPRイベント打合せ

仙台地方振興事務所

【29日（火）】

秋冬の鍋シーズンを前に、食材として使用機会が増える「きのこ」の販売促進や消費拡大を目的としてPRイベントを企画しています。

今回は、中心となる原木しいたけ生産者を訪問し、各市町村で実施される「産業まつり」のPR展開について打合せしました。

仙台市秋保及び大和町は、例年どおり植菌体験と試食コーナーを設けるとともに、来年1月に予定している利府イオンでは、商品販売により実施する予定としています。

市町村、生産者とともに安心安全な原木しいたけ生産のPRを進めていきます。



【PR用商品（干ししいたけ）】

苗木生産を目指したミズキの種子採取

北部地方振興事務所

【1日（火）】

当事務所では、大崎市と連携し、鳴子こけしの材料となるミズキの安定供給を目指しています。

今回は、大崎市有地に地元産のミズキを植栽するため、大崎市職員とともに、苗木づくりの第一歩となる種子の採取を行いました。

採取した種子は、当事務所で果肉を取り除き、林業用種苗生産者に提供して、立派な苗木になるまで育ててもらいます。

これからも、大崎市と連携して、ミズキの安定供給に向けて取り組んでいきます。



【種子採取の様子】

森林経営計画策定支援

北部地方振興事務所

【15日（火）】

大崎市と加美町の山林を大規模に所有する森林所有者から、森林経営計画を策定し間伐等の整備を行いたいとの相談があったので、大崎森林組合と森林経営計画の策定について検討しました。

計画の対象となる森林の現況を把握し、間伐が必要であることを確認した上で、林齢や活用できる補助事業を考慮し、森林経営計画が策定可能かどうかを検討しました。策定・森林整備までの課題は多いことが判明したので、今後、新たな作戦を練りながら森林整備へつなげたいと考えています。



【打合せの様子】

ハタケシメジの栽培支援

北部地方振興事務所

【18日（金）】

加美町で新たにハタケシメジ（みやぎLD2号）の栽培を開始する生産者に対し、現地で栽培指導を行いました。

直射日光を防ぐのに効果的な寒冷紗のかけ方や、散水のタイミングなどについて、資料を用いながら説明しました。

今回は試行的な少量の栽培ですが、順調に収穫できれば、今後の秋の主力商品になる可能性があります。

これからも生産者を支援し、ハタケシメジの普及に努めていきます。



【栽培指導の様子】

苔に関する活動への支援

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【6日（日）】

管内高清水地区の住民組織からの依頼により、自主活動（苔玉製作）を支援しました（参加32人）。

苔玉の中心となる植物及び周囲に巻く苔は、栗原地域から調達したものとし、この先も各自で管理することで生育が見込めるよう配慮しました。また、ポイントとして、なるべく戸外において苔を管理・生育させるようにお願いしました。

全員が手軽に自分の苔玉を作り、持ち帰ることができ、参加者からも概ね好評を得られました。



【集会場での製作体験】

たけのこ出荷再開への支援

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【11日（金）】

現在も出荷が制限される地区のたけのこのうち、これまでの竹林ごとの放射性物質検査により、安全性が確認され、今回5竹林で制限が解除されたことから、対象者に対し、今後の販売に必要な手続きの案内を行いました（竹林の地番解除）。

対象者のお宅を訪問し、「たけのこの販売の際には、生産者登録と個別の出荷前検査が必要なこと」など、手続き内容を解説し、次期のたけのこシーズンへの準備を進めているところです。



【個別訪問の状況】

みやぎ高度機械産業振興協議会とのマッチング

東部地方振興事務所

【9日（水）】

みやぎ高度機械産業振興協議会からの依頼を受け、管内木材製造企業への訪問機会を調整し同席しました。同協議会は、富県宮城の実現に向けた、地域の一体的な取組による高度電子機械産業の活性化を目的として平成20年に設立された製造業等約550会員からなる組織です。IT分野に関する企業の現状や課題を聞き取り、把握することができました。また、今度同協議会が実施する講演会やセミナー、会員企業とのマッチング、アドバイザー派遣などの情報を継続的に提供いただけることとなりました。今後も県産材利用推進に向けて管内企業を支援していきます。



【訪問の様子】

「みやぎ林業・木材産業ＤＸ推進協議会」第２回全体会議

東部地方振興事務所登米地域事務所

【2日（水）】

県産木材のトレーサビリティを証明するためのシステム（林業DXシステム）開発に取り組む「みやぎ林業・木材産業DX推進協議会」の第2回会議に出席し、登米市森林管理協議会が取り組むFSC認証材の販路開拓を支援しました。

会議では、システムの開発状況やDX協議会が取り組む販路開拓、内航船による大ロット販売、木材チップのトレーサビリティの確保など、各取組の進捗状況が参画事業体等の間で共有されました。



【会議の状況】

「森の展覧会」開催

気仙沼地方振興事務所

【9日（水）～18日（金）】

気仙沼市リアス・アーク美術館エントランスホールにて、「みやぎ児童・生徒『木工工作』コンクール」の気仙沼管内小学校からの出展作品、および「愛鳥週間用ポスター原画コンクール」の作品を一堂に集め、「森の展覧会」と称して開催しました。

会場には木工工作6点、ポスター9点の作品が並び、いずれも児童・生徒の独創性や工夫が光る素晴らしいものばかりでした。また、ポスター作品は美術館の学芸係スタッフの手により展示され、作品の魅力が一層引き立てられていました。

今後も気仙沼地域からより多くの作品が寄せられ、地域の皆さまに子どもたちの才能や成長を感じていただけるよう、情報発信を行っていきます。



【展示状況】

みやぎ森林・林業未来創造カレッジ
林業教室　選択講座Ⅳ（木材流通）」

林業技術総合センター

【17日（木）】

林業教室の選択講座Ⅳ（木材流通）を開催しました。

受講生は宮城県森林組合連合会大衡綜合センター様で木材市場の役割や価格の動向などについて講義を受けた後、市場を見学し、実際の木材を見ながら採材の注意点などについて説明を受けました。

午後は林業技術総合センターに移動し、木材の性質や構造について学びました。

木材の買い手側の視点を知ることで、受講生は業務への理解をより深めることができました。



【大衡綜合センター：施設見学状況】